

# 天湖森 遊歩道できた

k.10.11

里山再生を目指す富山市のボランティア支援組織「きんたろう倶楽部」（会長・西頭徳三富山大学長）は十日、同市割山（細入）の割山森林公園「天湖森」で、里山や遊歩道の整備を行い、地元の同市楡原中学校の生徒らが作業を行った。



## きんたろう倶楽部 楡原中生徒ら協力

楡原中学校の全生徒と、同倶楽部の会員、天湖森を拠点に活動するボランティア団体「しんゆう倶楽部」（森坂義孝会長）のメンバーら計約九十人が参加した。

作業は、きんたろう倶楽部などが市民に親しんでもらえる森をつくろうと、二年前から整備している天湖森内の約一キロの遊歩道で実施した。

参加者は、かまやのこぎりなどで、遊歩道内に生えた草や低木を刈り取った。遊歩道の入り口の急斜面には、天湖森内の間伐材の丸太を使った階段を造り、生徒らは木づちでくいを打ち込んで丸太を固定した。

階段造りを担当した同校三年の田口つばささんは「思ったよりも作業は大変だった。私たちが大人になったころにも、整備した遊歩道が残っていればうれしい」と話していた。